

(公印省略)

令和 8 年 1 月 5 日

報道機関各位

伊勢崎市総務部長 新井 赴志

(秘書課秘書係)

このことについて、次のとおり情報を提供いたします。

- | | |
|---------|---|
| 1 件 名 | 令和 7 年度いせさき元気大賞授与式について |
| 2 内 容 | 伊勢崎市に活力を与え、まち全体を元気にする活動をした個人・団体を表彰するものです。 |
| 3 授 与 式 | 令和 8 年 1 月 29 日（木）午後 4 時から |
| 4 会 場 | 市役所東館 5 階第 1 会議室 |
| 5 主 催 | 伊勢崎市 |
| 6 受 賞 者 | 別紙のとおり |

問合せ先 秘書課秘書係 齋藤・堂前

電 話 0270-24-5111(内線 5306・5307)

タ・イ・ヤ・ル・イ・ン 0270-27-2700

令和7年度「いせさき元気大賞」受賞者及び授与式について

●1月29日（木）午後4時～ 市役所東館5階 第1会議室にて

No.	受賞者名	主な活躍・功績(概略)	所管
個人 1	高橋 朋希(たかはし ともき) 所属:株式会社ジール 伊勢崎市聴覚障害者福祉協会	<柔道> 令和5年3月 第1回アジアろう者柔道選手権大会 90kg級 銅メダル 令和6年4月 第2回世界ろう者柔道選手権大会 100kg級 銅メダル 令和7年11月 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 ・柔道男子100kg級 銅メダル ・男子団体戦 銅メダル 日本で初めて開催されたデフリンピックにおいて、本市に在住するデフアスリートが世界の舞台で活躍しメダルを獲得した姿は多くの市民に元気を与えたほか、本市が推進する手話言語の普及促進に大きく貢献している。	障害福祉課
団体 1	いせさき 女(ひと)と男(ひと)ハーモニー・ネット 会長 渋澤 範子(しぶさわ のりこ)	<男女共同参画の推進> 平成18年12月より、男女共同参画社会の形成に資することを目的に、4団体代表者8人(伊勢崎友の会・群馬婦友会伊勢崎地区・伊勢崎商工会議所女性会・新日本婦人の会伊勢崎支部)、個人会員9人の合計17人で活動。市民向け講演会、防災における女性の視点に着目した課題をテーマとした講座、情報紙の発行、男女共同参画標語の募集による市民参加型の啓発活動等の実績を積み重ね、性別にかかわらず多様な人材が活躍できる元気で活力ある伊勢崎市の実現に貢献している。	人権課
団体 2	稲岡区ゴミ減量委員会(いなおかくごみげんりょういいんかい) 組区長 竹内 征四郎(たけうち せいしろう)	<環境美化活動> 2008年(平成20年)より資源物の回収活動を行っており、本年10月時点での活動回数は200回、資源物(紙類、衣類、金属類)の回収量は780トン、売却益は1,000万円を超えてる。参加世帯は225世帯453人、参加住民は延べ7,023人(月30~40人)となっている。 さらに、資源物の回収活動を通して得られた資金でゴミステーションの更新も行っており、稲岡区内の環境美化、住民のゴミに対する意識向上を図るとともに、活動により住民同士の交流が図られ、住民の絆づくりにも貢献している。 また、回収した資源物の売却益で稻間組屋台庫を建設し、2004年(平成16年)に市指定重要有形民俗文化財に指定された1857年(安政4年)製作の稻間組屋台の保存状況を改善することで地域文化の保存と継承に貢献しており、この取組みは地域住民の誇りと元気となっている。	資源循環課
団体 3	伊勢崎こどもEXPO実行委員会 委員長 小島 由里恵(こじま ゆりえ)	<子どもイベント> 相談支援専門員や放課後等デイサービス、学生ボランティア団体、フリースクール、こども食堂など、市内で子どもたちのために活動する団体が実行委員会を組織し、参加者や来場者が相互に交流を深めることのできる子どもたちのためのイベント「伊勢崎こどもEXPO」を開催している。 本団体が開催するイベントは、障害の有無にかかわらず、誰もが参加することができる共生型のイベントであり、障害者福祉や子育て支援、子ども教育など、各分野で活動する団体同士の繋がりや子育て支援の輪の拡充に寄与している。	障害福祉課
団体 4	群馬県立伊勢崎興陽高等学校 いのちと緑を育む系列・食を科学する系列 地域交流活動班(いのちみどりをはぐくむけいれつ・しょくをかがくするけいれつ ちいきこうりゅうかつどうはん) 班長 横堀 美波(よこぼり みなみ)	<農業キッズプログラム> 本市実施の「農業キッズプログラム事業」において、市内の小学生(4年生以上)に作物の植栽や収穫の指導及び市内産野菜を使った料理教室の開催など、農業の良さや楽しさを体験する活動を令和4年度の事業開始当初からサポートしており、本市農業の振興と普及に大きく貢献している。	農政課
団体 5	小泉環境保全組合(こいづみかんきょうほせんくみあい) 会長 岩崎 昭一(いわざき しょういち)	<農業基盤維持活動> 平成20年度に活動を開始し、地元住民との協働による農地・水路等の草刈りや清掃活動、農業用水路の改修等、地域環境の保全及び農業基盤の維持活動を行っている。 また、次世代へつなぐ取り組みにも力を入れており、遊休農地を活用したマリーゴールドの植栽やカキ菜の栽培、ジャガイモの植え付け・収穫体験などを通じて、地域住民が世代を超えて集い、交流を深める場を創出している。これらの活動は子どもたちが農業や地域の営みに触れる貴重な機会となっており、将来の担い手育成にも貢献している。	農村整備課

令和7年度「いせさき元気大賞」受賞者及び授与式について

●1月29日（木）午後4時～ 市役所東館5階 第1会議室にて

団体 6	<p>世界一大きな絵2025プロジェクト参加者 代表 四ツ葉学園中等教育学校 生徒会本部及び美術部</p> <p>＜世界一大きな絵2025プロジェクト＞ 「世界一大きな絵2025」プロジェクトは、大阪・関西万博の開催に合わせて、全国47都道府県の代表の子供たち及び世界各国の子供たちが描いた絵、124枚を繋ぎ合わせて、EXPO2025大阪・関西万博のフェスティバルステーションで5日間及びEXPOアリーナ「Matsuri」で1日間展示された。群馬県代表として、四ツ葉学園中等教育学校の生徒会本部と美術部員、市内小学生182人が制作した。「いのち」をテーマに、縦横5mの白布に猫や魚、草花などの動植物を色鮮やかに表現し、完成した絵は他県や世界各国の子供たちが描いた絵と繋ぎ合わせられ、万博会場において多くの参加者や観客に感動を与えた。</p> <p>合同作業の参加者は、お互い協力しあって一つのことに取り組むことの大切さや楽しさを学ぶことができ、創造力だけでなく協働性やコミュニケーション力といった多面的な能力を養い、世界規模のプロジェクトに参加したことで強い自信と勇気を与えた。</p>		教育部総務課
団体 7	<p>伊勢崎市立境南中学校 美術部 部長 斎藤 瑞花(さいとう るか)</p> <p>＜境地域交流＞ 境東公民館に所属する「境史談会」及び境社会体育推進委員会連絡協議会と連携し、地域に受け継がれる歴史を学びながら、地域の皆様が気軽に運動を楽しめる環境を提供したいという共通の思いからスタートした協働プロジェクトにより、オリジナルウォーキングマップを作成した。 マップの作成にあたり、「境史談会」より校区内の名所や旧跡にまつわる歴史的背景や、地域に埋もれていたエピソードを提供いただき、これを受けて美術部員たちは実際に名所を巡り、若い感性を活かしてイラストやデザインに落とし込んだ。単なる地図ではなく、「見る人が歩きたくなる」ような親しみやすいデザインと、歴史の深みが伝わる【地域の宝物】のようなマップに仕上がった。 地域住民の皆様が自分の住むまちの魅力を再発見し、健康的な生活を送るきっかけとなることを願い、境南中校区内の全世帯に無料で配布する予定である。 地域との協働により生まれたマップが、住民の運動習慣の定着と、世代を超えた地域交流の活性化に寄与している。</p>		学校教育課